

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズとらいあんぐる		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日		令和6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名 (世帯数19)	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日		令和6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童員、保育士、児童福祉事業経験5年以上、教員免許、幼稚園教諭、介護福祉士等 資格を持つ職員が常勤で療育にあたっています	・各分野の研修に参加し、社内研修を実施し、各自の強みが事業所の強みとなるように工夫しています	・専門性が実際にプログラムに反映されるようにSST、ABA、セルフモニタリング、ビジョントレーニング、感覚統合、アンガーマネジメント等を知識として取り入れ、療育にいかします
2	・子ども達が楽しんで来る事が出来ています ・子どもたち一人ひとりの特性に丁寧に向き合っています ・子ども達をしっかりと観察して見守りながら主体性を引き出すよう関わっています ・子どもの安全面を考慮し、適切に人員を配置しています ・活動スペースを広く取り、個室も2つあります	・大人の思いだけでなく、本人の希望を取り入れ、発達検査の結果や子どもを取り巻く人達の意見を聞きながら、発達段階に即した支援を行っています ・子どもに関する情報は職員全員が共有しています ・集団活動も個別活動もできる環境が整っています	・「好き」を伸ばし、活かし、「強み」をサポートすることに取り組んでいます ・個々の多様な能力を大切に、強制するのではなく導くための環境を整え、信じて待ちます ・丁寧に伝えて子どもの気持ちを受け止め、寄り添って落ち着くのを待ちます ・その場所が有意義に使えるよう支援内容を充実させます
3	・個別、小集団での療育が両方体験できます ・サントレ（言葉の教育）、リズム遊び等保育事業35年間のキャリアの中で培われた保育を基に療育を行っています ・立地の環境が良く、天気の良い日は外に出て遊びます	・コミュニケーション（集団）や、勉強、微細運動（個別）など、ニーズに合わせた活動を本人がすすんで行います ・遊びながら苦手意識をやわらげ、好きなことや得意なことを見つけれられるよう工夫します ・外に出て身体を大きく動かし、ストレス発散、身体機能向上に努めます	・個別も集団もスモールステップでひとつずつ出来る事を増やしていきけるよう、画一化しない療育を目指します ・外に出て地域の人々と出会うことにより、様々な人と触れ合う機会を増やしていきます

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会やペアレントトレーニングが行えていません ・学校や保育所等と情報共有、連携があまり取れていません	・働いておられるご家庭が多く保護者会の実施方法が難しいです ・連携を必要とされないご家庭もあります	・保護者同士や職員と話ができる機会をつくっていきけるよう計画します
2	・運転できる職員が少ないです ・車が小さい (送迎が十分に行えない)	・療育している職員が送迎を行うと、療育から抜けたり、運転をする上での負担や責任が大きくなるのではないかと思います ・子どもの様子をよくわかっている職員が行うのは良い点ですが、もう少し役割分担ができればいいと思います	・送迎場所の近いお子様のご利用をなるべく同じ日に行えるといい ・送迎専門の職員がいてほしい
3	・イベントが少ない ・行事がもう少しあるといいと思います ・訓練などの情報発信が行きわたっていません	・年間行事計画を作成し、それに沿って活動を行います ・季節感を感じられる、記憶に残る体験をしてほしいと思っています ・季節や昔の人の知恵、日本の文化等を伝え、子どもたちが感じる機会があってほしいです ・実施している訓練を知らないご家庭があります	・現状小さなイベントが多いので、もう少し大きなイベントも考えていきます ・地域の幼稚園、保育所等の参加出来るようなイベントがあれば参加出来るように計画します ・個々の子どもにあった参加の仕方ができるように行事を計画します ・ご利用日ではないときに行う活動の発信方法を考えます

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズとらいあんぐる

公表日 年 月 日

利用児童数 年 月 日 回収数 15

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15				・新しい事業所になり、広くなりました。	移転の際はご協力いただきありがとうございました。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1		2	・見ていない為 わかりません。	ご意見ありがとうございます。 現在 職員の配置数は法令通りで運営しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13			2	・移転したばかりなので、どういう配置なのかまだわかりません。	ご意見ありがとうございます。 また面談等でお越しいただきました時に、施設内を見て頂ければと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				・音が響くため、耳が敏感な娘にはつらい時がある。	ご意見ありがとうございます。 個別支援に使わせて頂いております相談室は、確かに音が響いてしまいます。辛い時には早めの休息を心掛け工夫していきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1		2	・職員さんの対応はとて素晴らしいです。事業所の方針が軽度対応になってきているのかなと感じます。	ご意見ありがとうございます。 お子様の特性に応じた支援ができるよう、今後も指導員のスキルアップに努めて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1		2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			2		
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	14			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	3	7		保護者様のご希望がありましたら、今後検討させていただきます。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	3	6	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14			1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	3	1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	8	3	・特に必要が感じられません。	ご意見ありがとうございます。 今後 保護者様の必要性を確認し、検討していきたいと思います。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14			1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	4		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			1	・発作の対応など職員間で周知してくれています。	ご意見ありがとうございます。今後もお子様の安全確保に努めて参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			・毎回楽しく通所させてもらっています。	ご意見ありがとうございます。とても励みになります。これからもお子様楽しんで通所して頂ける事業所であり続けられるよう努力して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				・先生方に感謝しかありません。	ご意見ありがとうございます。とても励みになります。これからも保護者の皆様とお子様の成長を見守っていただける事業所であるよう努めて参ります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
キッズとらいあんぐる		年 月 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個室2部屋以外に、棚で空間を仕切り個室の他にも刺激が少なくなる(クールダウンの部屋)ような場所を作っている。	午前、午後と時間帯を分けるなど、ご利用者様の人数とスペースが様々な活動に取り組める環境であるよう、今後も配慮していきたい。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令遵守している。	必要に応じて職員を増やしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		全てがバリアフリー化にはなっていないが、安心・安全に基づいた設備は整えられ配慮はされていると思う。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		個別、集団での活動、用途に合わせた部屋があり、またこまめに拭き掃除なども行っており、心地よく過ごせる空間となっている。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		不安定になった時、音が気になる時等 個室が必要とされる時には、1人になれる場所がある。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		個別支援計画、アセスメントにおける会議の実施、ケース会議などを行っている。	現場スタッフの勤務体制の関係から参加できない会議もあるので、出来る限り全員が参加できる状況をどう作っていくかを今後の課題としたい。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		送迎時、また面談等でもご意見を伺うようにしている。	保護者向け評価表の結果内容を職員間で共有し、頂いたご意見を今後の様に反映していければよいかと検討している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		疑問に思ったことを発言や指導員の先生方に相談できる環境があり、実際に業務改善に繋がっていると思う。	今後も職員間で意見を出しやすい環境づくりを行っていく。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現時点では第三者による外部評価は行われていない。必要かどうか検討し、体制を整えていく。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		自身がどの様な研修を受けたいか、学びたいかを発信しやすい環境になった。また研修を受けやすい人員配置、環境になってきている。		
適切な支援の提...	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		「5領域」を見やすく、わかりやすく公表している。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	○		指導員の評価と保護者様の意見を十分な時間を取り、聞き取って、全職員でニーズや課題を掘り下げるようにしている。	今後も引き続き、本児と保護者様と信頼関係を築き、ニーズや課題をしっかりと把握するようにしていく。	
	13 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		1つの計画書を作るのに最低2回は会議を行い、指導員の視点も含めた支援計画を立てている。	こどもの最善の利益を考慮した支援計画であることを今後も重要視し、子どもの支援に反映されるよう共通理解を深める努力を更にしていく。	
	14 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		指導前に職員全員で共有している。	支援に不安がある時には、児童発達支援管理責任者や他職員に相談したり質問したり出来る環境を維持しておく。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを確認し、こどもの支援に必要な項目は反映されている。	ガイドラインを確認し、必要な連携等が出来るように体制を整えているところである。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは全て職員間で話し合いをしている。	今後はより多くの活動プログラムを行えるよう、振り返りを行いながら更に改善を加えていく。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化しないように努めている。	内容が前回の活動と重ならないようにしながら、本人のニーズにも対応出来るように努めていく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	○		出来る限り個々のニーズに合わせて対応しながら、個別・集団のどちらかに偏らない様に努めている。 社会生活へ向けての計画で支援計画を作成しているため、個別支援も集団支援もどちらも取り入れられるように努めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼を全員で行い、チームで動いている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼を全員で行い、共有している。また重要なことは議事録に残している。	個々の職員同士では共有が出来ているが、全体的な振り返りの時間はなかなか取るのが難しいこともあるので改善していけるように努めていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		誰でもが確認できる業務日誌にて支援の記録を取るものとする。 支援時に気づいたことは、都度指導員間で共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリング検討会議を見直し時期に合わせている。	
	24	<b>【放デイのみ】</b> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		ガイドラインを確認しながら、支援に反映させている。	当事業所ならではの特色を出す。
	25	<b>【放デイのみ】</b> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		そのお子さまに合った選択方法の中から、少しずつ自己決定する力を育てられるよう努めている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議の日程等にもよるが、出来る限り参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		児発管が着任したばかりなので、今後密に連絡を取っていけるよう順次ご挨拶等に伺う予定にはしている。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児発管が着任したばかりなので、今後密に連絡を取っていけるよう順次ご挨拶等に伺い、これから連携を図る体制をとっていく。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域社会との交流は、公園など外出した際に限られている。公園等に遊びに行ったときには、様々な年代のお子様と触れ合える機会を作るようにはしている。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		面談のご希望や送迎時等にお話が出た場合、一旦話を持ち寄り、必ず職員間で共有している。 日頃から保護者の方々とお話をするようには心掛けている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族支援自体は現時点では行っていない。	ベアトレは今のところ予定していないが、希望があれば計画していく。
	32	<b>【児発事業所・児発センターのみ】</b> 研行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		希望があれば検討する。	
	33	<b>【児発事業所・児発センターのみ】</b> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		希望があれば検討していく。	
	34	<b>【児発センターのみ】</b> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	<b>【児発センターのみ】</b> 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	36	<b>【児発センターのみ】</b> （自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	<b>【放デイのみ】</b> 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時、トラブルが発生した時には連絡を入れるようにしている。	情報共有、連絡調整がスムーズにいくところまでは連携できていない。
38	<b>【放デイのみ】</b> 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談員の方よりお話は伺っている。	児発管不在の期間が長かったため、学校等との関係性は構築途中であり、今後連絡をとっていけるようにしていく。	
39	<b>【放デイのみ】</b> 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現在 該当するお子さまはいらっしゃらない。		

	40	【放デイのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○	現在 該当するお子さまはいらっしゃらない。	現時点では指導員は参加していない。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時にそれぞれの書類にて、丁寧に説明を行っている。	
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様の意思をお伺いしたり、尊重する機会が多くなりがち。本児の気持ちや意思を聞く機会を増やす。現時点では送迎時や療育中に本児から聞く事が多いため面談と言う形をとる事も検討する。
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	児童発達支援ガイドラインに沿って行っている。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	ご相談があれば都度対応している。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	児発管が着任したばかりなので、今後どのように進めていくのが良いのか検討しているところである。	現時点では行っていない。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情対応窓口を設置している。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	11月よりブログにてお子様の療育のご様子を見てもらえるようにしている。	以前はお便りを発行していたが、児発管不在時はできていなかった。11月よりこまめにブログはあげている。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	鍵にかかる棚にて取り扱いをしている。	職員等からの意見があれば、その都度改善に努めている。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	連絡帳にて保護者との連絡は密にとっている。	発語の無いお子様との意思の疎通が視線、行動、喃語等になりがちなので絵カードなどを使用して確実に伝えていく方法を提案していく。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	現在 大々的な行事は行っていない為、地域の方々を招待するようなことは行っていない。こちらから児童館や公園などに行った時は、地域の方との触れ合いも考えながらやり取りはするようにしている。この建物で何が行われているか建物内の様子を伺っている人にはお話しするようにしている。	今後どのように地域の方々で交流していき、相互理解を深めていくか検討中。
51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	ご希望のあるご家庭は、事業所内にて相談を受け付けている。		
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	年間計画を立て、実施している。	マニュアル等は作成し共有しているが、訓練内容が固定化しているように思われる。訓練内容の見直しを検討していく必要がある。
	53	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	年間計画を立て、実施している。	内容がマンネリ化していないか検討の余地あり。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	保護者様より、お子さまの状況を書面にて提出していただいている。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	保護者様から聞き取りをし、それに基づき対応をしている。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全管理には十分配慮している。	更に具体的な研修、訓練回数を増やすように努める。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	日々日常に起こりうる些細なことも職員間で共有し、再発防止に取り組んでいる。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	必要な虐待防止の研修に取り組んでいる。	更に研修を受け、虐待に関する知識を深めていきたい。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	計画書には記載していないが、研修は計画的に行っている。契約時に身体拘束の説明を十分に行い、同意を得ている。	身体拘束の基準もどんどん変わっていつているため、最新の知識を研修等で身につけていきたい。